



趣旨 地域づくりや地域活性化を担う人材を育てるために社会教育として何をすべきか。→→→ 提言

第 1 章 生涯学習・社会教育をめぐる状況

第 1 節 国の状況

★第 3 期教育振興基本計画

第 2 節 新潟市の状況

★新潟市教育ビジョン第 4 期実施計画の策定
…〈これからの社会をたくましく生き抜く力の育成〉

★第 32 期新潟市社会教育委員会議建議
★第 46 回市政世論調査（令和元年度）

第 3 節 社会教育に期待される役割

★社会教育の意義 ★学びの成果を生かした地域づくりの推進 ★社会教育における次世代育成 ★他市町村の事例

第 2 章 本市の社会教育による次世代育成 →→→ 1 「世代を超えた学びの継承と創造」による次世代育成 2 「いろいろな世代の学びの充実と展開」による次世代育成

第 1 節 活性事例（調査）

*次世代育成につながるヒントを現場から探る

★出動！西区地域盛り上げ隊 ★新潟砂丘遊々会 ★南区 CC 育成講座 ★そらいろ子ども食堂 ★YAKKOTE（やっこて）
★結いの会 ★Akiha きらきらプロジェクト ★高校生が主体の地域での学び ★新潟市の取り組み



〈 団体・グループ等との意見交換 & 課題整理 〉



提言

第 2 節 世代を超えた学びの継承と創造

= 世代を超えて学びが継承されたり、異なる世代間の交流から新しい学びが生まれたりするには =

- ◇ 高校生の地域貢献活動を活発化させる環境づくり
- ◇ 高校生などを積極的に受け入れる地域の土壌づくり
- ◇ 地域教育コーディネーターを中心とした地域とのかかわりによる学校教育の展開
- ◇ 近隣企業等との連携による、企業からの活動サポート体制の確立
- ◇ 地域課題を解決するために、目的を明確にし、住民の自発的活動を促す行政のかかわり方



第 3 節 いろいろな世代の学びの充実と展開

= 社会教育活動をする人の裾野を広げるとともに、既存の団体やグループを継続していくためには =

- ◆ 探究活動・地域貢献活動の充実
- ◆ 小中学校や高校と連携した講座の継続・充実
- ◆ 高校生の地域貢献活動に対する評価の仕組みづくり
- ◆ 学習者同士による「活動成果を発表し合える場」、「情報交換できる場」づくり
- ◆ 主体的な活動者に対する側面的支援（地域団体や行政等とのコーディネート）
- ◆ 企業等との連携による青年層を対象とした実務的な学習機会の提供
- ◆ 住民主導のプロジェクトチーム型によるまちづくりの取り組みと発信



第 3 章 次世代育成の方向性

第 1 節 旧来型次世代育成の継続と限界

第 2 節 学びを生かす次世代育成：世代を超えた学びの継承と創造

★地域課題にかかる取り組みを支援できる職員の育成・配置

第 3 節 新しいつながりによる次世代育成：いろいろな世代の学びの充実と展開

★安心・安全で情報環境の整った身近で使いやすい施設の整備